

写真を高精細なガラスモザイク手法で表現する画期的手法

「ラヴェンネファインモザイクアート」のご紹介

弊社は、ラヴェンネモザイクアートの各種商品をご提供していますが、このたび精細なモザイクアートである「ファインモザイクアート」を新たに商品化しました。

ファインモザイクアートは、写真をベースにしますが、更に新たな付加価値をつけた作品として評価されています。是非皆様も本作品の素晴らしさを体感され、ご自分の生活や事業にご活用いただきますようご提案いたします。

ラヴェンネモザイクアートの文化

ヴェネチア地方では、5世紀頃からローマ帝国の支配下で、古代建築物の床や壁面あるいは工芸品の装飾にモザイクアートが施されてきました。特に古都ラヴェンナ県は、「モザイクの首都」と称されるほど、数多くの遺産が現存しています。

そのような歴史的風土の中からラヴェンネのガラスモザイクアートは生まれ、世界各国で賞讃される、その繊細な創作技法は、ラヴェンネの数少ないモザイク職人たちによって今日まで大切に受け継がれてきています。

ファインモザイクアートとは

「ファインモザイクアート」は、従来の四角形のガラススタイルをそのまま使用するのではなく、それらをさらにカットしたファインピースを、写真をベースにした下絵の上に貼り付け配置していく方式です。

デザインは、具象・抽象を問わず、依頼者の意向に合わせて制作することができ、油絵、水彩画、水墨画、さらには写真といった原画が持つイメージをリアルに再現するばかりではなく、「ガラスモザイク画」という特性から、新たな付加価値を付けた不変性を兼ね備えた「永遠の絵画」としての価値を実現します。

ファインモザイクアートのサンプル

写真



ファインモザイクアート作品



ファインモザイクアートのメリット

作品	イタリア文化を踏まえた真正銘の作品である	<ul style="list-style-type: none"> ○全てイタリアでの職人技による作品である。 ○モザイクアートとしては世界で認められている制作スタイルである。 ○イタリア文化の香りがし、歴史の重みを感じさせる。
	モザイクアートの特長が活かせる	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴージャスである。 ○ファインモザイクできめ細かく表現している。 ○写真より躍動感がある。 ○手で触って感じるができる。 ○遠くで見た場合と近くで見た場合で作品のバリエーションが増える。 <ul style="list-style-type: none"> ・遠くからだ写真に似ている。 ・近くからだ写真を超えている。 ○ライティング（光の当て方）により様々な見え方がある。
	希少性がある	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の誰も見たことがない作品である。 ○一つとして同じものがない完全オリジナルである。 ○初めての見た驚きがあり話題が弾む。
管理	維持の手間がかからない	<ul style="list-style-type: none"> ○手入れが簡単である。 ○汚れは水拭きレベルでよい。
	長期間保存できる	<ul style="list-style-type: none"> ○永久に保存できる。（数1000年） <ul style="list-style-type: none"> ・色あせない。 ・汚れない。

ファインモザイクアートの制作手順

日本	写真を入手する	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼者からモザイク対象の写真を入手する。 ・作品（仕上げ）サイズでなくてもよいが、できるだけ精細なものが良い。
	作品のサイズを決める	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のサイズを決める。（A3版、A2版、A1版、フリーサイズ等） ・対象の価値や価格を考慮して決定する。
ラヴェンネ	下絵を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を作品サイズに下絵として作品サイズにプリントする。 ・これを下絵とする。
	ピースを作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・下絵の写真を見て、タイル（四角形）の色を選ぶ。 ・タイルを形に合うようにモザイクピースとしてカットする。
	ピースを配置する	<ul style="list-style-type: none"> ・下絵の上に接着剤を付けてピースを配置し下絵全体のピースを完了する。 ・この時点で依頼者に確認する。
	作品を完成させる	<ul style="list-style-type: none"> ・下絵の上のピース群の上に接着剤付きの養生紙を貼る。 ・裏返して下絵を剥がし、その上に接着剤付きのメッシュを貼る。 ・裏返しにして作品を完成させる。
	作品を輸送する	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に梱包する。 ・航空便で輸送する。
日本	作品を受け取る	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルストーンマテリアルから作品を受け取る。 ・内容を確認し納得していただく。
	額に入れて仕上げる	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に相応しい額に納める。 ・額は作品に相応しいものを選択する。
	観賞する	<ul style="list-style-type: none"> ・作品をアピールしたい場所に掲げる。 ・自分で楽しむ。 ・客人に想いを説明して観賞していただく。

提供会社のご紹介

提供会社	会社名	グローバルストーンマテリアル株式会社。
	住所	〒102-0082 東京都千代田区一番町27-2 理工図書ビル3F
	電話・FAX	電話：03-3261-0553 FAX：03-3261-0554
	Mail	info@gsm-japan.com